Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

土浦南ロータリークラブ 週報

皆既月食　提供 堀越泰樹会員

会長 稲野邉 穣　幹事 高野 和彦
■ 例 会 場　ホテルマロウド筑波 TEL.029-822-3000
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋 1-2-6 金塚ビル 3F TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-src.jp
■ Eメール　info@tsuchiura-src.jp

2018～2019年度
国際ロータリーテーマ
インスピレーションになろう

地区 HP　地区行事予定

2018年９月18日　10号
2018年９月11日　第２例会報告

1．点　　鐘　稲野邉会長
2．ロータリーソング斉唱
　（奉仕の理想）
3．来賓紹介　稲野邉会長
4．来賓挨拶　増山　栄様
5．幹事報告　高 野 幹 事
6．委員会報告
7．結婚記念月のご紹介　親睦活動委員会
8．ニコニコボックス発表　楢戸副ＳＡＡ
9．出席状況報告　出席委員会
10．研究会報告
　青少年奉仕研究会　杉田一男委員長
　奉仕プロジェクト研究会　鈴木常生委員長
11．点　　鐘　稲野邉会長
12．ロータリーソング斉唱
　（我等の生業）

（司会進行　阿部ＳＡＡ）

本日のプログラム
高野和彦幹事より髙橋ガバナー公式訪問についての説明に続き，公共イメージ・ＩＴ委員会より「My Rotary」について説明を頂きます。

次週のプログラム
９月25日（火）の例会は，髙橋賢吾ガバナー公式訪問日です。全員参加でお迎え致しましょう。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	３名以上欠席卓	メークアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
93	67	8	72.83	4	3・5・6・8・9	11	84.78

【来賓挨拶】

2018-19年度第6分区ガバナー補佐
つくば学園ロータリークラブ　増　山　　栄　様

皆様こんにちは。ただ今ご紹介頂きました2018-19年度第6分区ガバナー補佐を拝命致しましたつくば学園ロータリークラブの増山栄と申します。宜しくお願い致します。

今日は事前訪問ということで，この後，会長，幹事様と高橋ガバナー訪問の事前お打合せをさせて頂くために参りました。土浦南ロータリークラブ様には日頃から大変お世話になっております。私も土浦青年会議所のＯＢですので，こちらのクラブには先輩や後輩など昔からの仲間が大勢おります。私はつくば学園ロータリークラブに入って30年になります。当クラブももう少しで90名ということで会員増強には頑張っておりますが，ただ出席率が悪いです。今日このようにこの会場にお招き頂きまして上から見ていると非常に密度の濃い皆様の出席状況に驚いています。自分のところのクラブはいつも半数くらいで出席率が悪いものですから，戻った時に報告しようと考えております。

また，個人的なことですが「土浦薪能」を21年間主催させて頂いています。土浦南ロータリークラブ様にはいつもお世話になっておりますが，今日ちょうど亀城公園で縄張りを行ってきました。10月2日に実施致しますが，今年は21回目で初めて券発売と同時に完売致しました。

また公式訪問の時に高橋ガバナーとお伺いしますが，高橋ガバナーは非常に張り切っておりますので，私も直前ガバナー補佐の鈴木様に教えを頂き頑張っております。2週間後の9月25日ガバナー公式訪問，宜しくお願い致します。本日は本当にありがとうございます。

【委員会報告】

親睦活動委員会　　説　田　賢　哉　委員

第6分区親睦ゴルフコンペのご案内をさせて頂きます。

11月2日実施です。締め切りが9月25日の例会までになりますので宜しくお願い致します。

国際奉仕委員会　　鈴　木　常　生　委員長

9月18日の例会終了後，大甲ロータリークラブ訪問にご参加者の方々に説明会を開催させて頂きます。お名前を読み上げますのでご出席の程よろしくお願い致します。今泉会員，稲野邊会長，大浦会員，大島会員，片岡パストガバナー，清野会長エレクト，髙橋会員，高野幹事，中山会員，堀越会員，溝口会員，君山会員，川嶋会員，塚﨑会員。宜しくお願い致します。

【研究会報告】

青少年奉仕研究会報告

青少年奉仕委員会　杉　田　一　男　委員長

去る７月15日，水戸三の丸ホテルにおいて青少年奉仕研究会が行われました。まず，高橋ガバナー挨拶，インターアクト，ローターアクト，ＲＹＬＡ委員会，青少年交換委員会，ローテックスの順に発表が行われました。地区としても青少年奉仕には特に力を入れているとのことです。

高橋ガバナーの挨拶の中で公共イメージの向上を図るため,「ロータリーｄａｙ」を考えて実行してくださいとのことです。当クラブでは年明けに行われる「青少年のための講演会」をロータリーｄａｙとする予定です。そして本年度の青少年奉仕のキーワードは「ロータリーファミリーを広めよう」です。私たちの最も身近にいるインターアクターやローターアクターがその期間を終えるとロータリーから離れていきます。地区やクラブで大事に育てた青少年たちがロータリーとの関わりを継続できない現状を打破しなければならないとあります。ＲＩ会長の言葉でロータリアン，インターアクター，ローターアクターが地域市民や若い世代，他団体と一緒に奉仕活動したら世界でどれほどの影響を与えるでしょうとのことでした。

続いてインターアクトですが，地域のボランティアに興味のある高校生の国際的な社会奉仕リーダー育成プログラムです。公共施設の清掃とか各種募金活動など活発な活動を行っています。毎年ホスト校を決めて年次大会を行っています。本年は水戸西ロータリーが提唱している水戸女子高等学校がホストで８月19日に行いました。2820地区においては提唱クラブが５クラブしかありません。ということは５つのインターアクトしかないということです。この後のローターアクト同様，できれば各区分に１つ以上の提唱クラブがほしいとのことです。

ローターアクトはやはり人材確保が１番のネックになっています。昨年は第30回全国ローターアクト研修会という一大イベントを９クラブ60名のローターアクターが一致団結して大成功に収めることができました。今年は50名のスタートです。９月10日（ア・９・10）がアクトの日なのですが，本年は９月９日の日曜日にアクトの日のイベントを行う予定です。11月18日には新たに始めた北関東３地区（群馬・栃木・茨城）交流会が行われます。３月10日から世界ローターアクト週間，５月５日には第27回地区大会といろいろ活動しています。しかしながら提唱クラブが水戸ロータリー,水戸東ロータリー,下館ロータリー,真壁ロータリー,つくば学園ロータリー，土浦ロータリー，土浦南ロータリー，共同提唱の古河地区ロータリー，もっと広く第１分区で提唱している茨城県北ローターアクト，第２分区，第７分区，第８分区にも提唱して頂き，全分区でローターアクトの活躍を応援していきたい。

続いてＲＹＬＡ（青少年指導育成プログラム）です。14歳から30歳までの若者が集まりリーダーシップスキルと人格を養いながらロータリーについて学ぶ集中研修プログラムです。いくつかのグループに分かれリーダーを決め独創的な考えをまとめてプレゼンテーションします。昨年参加者のアンケート結果は，参加してよかったが74.5％，まあまあが25.5％，よくなかったが０％でした。例年参加者はインターアクト，ローターアクト青少年交換，米山奨学生等が大半で，多くの一般の方々に認知されているとは言えない状況です。ロータリーの皆さんのご子息，事業所での若手社員の方々にも参加頂くことによりリーダーシップを学ぶ場としてご利

用頂けると考えています。ぜひ参加者をご紹介頂きたいと思っています。

次に青少年交換委員会です。問題は受入クラブが少ないことです。そして帰国してしまうとロータリーとの繋がりが途切れてしまうことです。今までのインターアクト，ローターアクト，ＲＹＬＡ，青少年交換はＲＩの理事会の枠の中で行う事業で，特別プログラムはポリオ撲滅があらゆるプログラムより優先すると明記されています。青少年交換学生を性的虐待やセクシャルハラスメント，いやがらせから守るために危機管理委員会の設置を義務付けられています。国際ロータリーは「危機管理３条件」を各地区に要求しました。青少年交換に関するＲＩ指針として，①地区または青少年交換委員会の法人化，②「虐待及びハラスメントの防止」のための責任賠償保険への加入，③地区に危機管理委員会を設置，そしてこの危機管理への対応が適切に取られていない地区は2006−2007年度以降，青少年交換プログラムは出来ないとしました。そこで，ＮＰＯ法人日本青少年交換会（ライゼック）を立上げ，その下に全国34地区が入り，①の青少年交換委員会の法人化は承認されました。次に②のセクハラ保険ですが日本ではセクハラ保険は存在しないと聞いています。人に触った，抱き着いた，それによって賠償金を要求された時にそれを保護する，カバーする保険が無いのです。そこでライゼックで一括して１億円の保険に入りました。年間22,440円ガバナー事務所より支払いをしてようやくクリアしました。③の危機管理委員会の設定ですがこれは出来ます。パストガバナー，インターアクト，ローターアクト，財団委員長など若い世代と接触する委員会のメンバーを入れればできます。そして危機管理対応地区には認定書を発行し同書保持している地区のみが交換可能としました。2007年手続要覧第８章世代のところに「青少年と接する際の行動規範に関する声明」に国際ロータリーは，ロータリーの活動に参加する全ての青少年のために安全な環境をつくり，これを維持するよう努める。ロータリアン，その配偶者，その他ボランティアは，接する児童及び青少年の安全を考え，肉体的，性的，精神的な虐待から彼らの身を守るため最善を尽くす必要があります。

「青少年保護法の遵守を怠った場合」ですが，ロータリー関係の青少年プログラムに関し，青少年保護法に違反した会員に対するいかなる申し立てにもクラブは適切に対処しなければならない。ＲＩ理事会はこれを怠ったクラブの加盟を停止または終結させることができる。

「虐待及びハラスメントの防止」についてですが，ＲＩは虐待及びハラスメントに対していかなる違反も法規適用する方針を有する。全てのロータリアン，クラブ，地区は「青少年と接する際の行動規範に関する声明」及び事務総長により作成された虐待及びハラスメント防止に関するＲＩの指針に従うべきものとされる。指針には次の要件が含まれる。

(1) 性的虐待あるいはハラスメントの申し立てがあった場合には第三者による徹底した調査が行われなければならない。
(2) 性的虐待あるいはハラスメントの申し立ての被疑者となったロータリー青少年プログラムに関与するいかなる成人も，問題が解決するまでは青少年との接触を一切絶たなければならない。
(3) 虐待のいかなる申し立ても，いかなる違反も法規適用するＲＩの方針（ゼロ方針）により，即刻適切な法執行機関（警察等）に報告しなければならない。性的虐待あるいはハラスメントを自ら認め，あるいは有罪であるとされ，あるいはそれに関与したと認められたいかなるロータリアンについては，クラブは会員身分を終結しなければならない。性的虐待あるいはハラスメントを自ら認め，あるいは有罪を宣告され，あるいはそれに関与したと認

められたロータリアン以外の人は，ロータリーが関係する青少年活動に携わることを禁じられる。クラブは会員が性的虐待またはハラスメントを行ったと知った場合，その人の会員身分を認めることはできないとあります。

最後にローテックスですが，青少年交換が終了後の青少年で2006年に一度活動を休止し，2017年に再始動しました。あとの補足は楠地区委員または地区青少年総括委員長の稲本様にお願い致しまして青少年研究会の発表とさせて頂きます。

ご清聴ありがとうございました。

奉仕プロジェクト研究会報告

国際奉仕委員会　鈴　木　常　生　委員長

奉仕プロジェクト研究会は，職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の各委員長が集い7月28日(土)水戸三の丸ホテルにて行われました。

午前中は，「地区補助金の活用について」「グローバル補助金の活用について」説明を受けると共に，公共イメージ委員会による公共イメージアップの具体的な方法を学びました。こちらに関しては，写真をホームページにアップするときにロータリーのロゴを載せるなど一手間を加えるだけで，閲覧者に与える印象が大きく変わるという内容でした。実際に写真をみるとなるほどと感じさせられるものでした。また，グローバル補助金を活用しアメリカコロンビア大学に留学をした寺前裕子さんの帰国報告プレゼンテーションがありました。噛み砕いた説明ですが，寺前さんは留学中，各国で行われている社会貢献活動や奉仕活動がどのくらい効果を上げているかをリサーチするという学習に特に注力したそうです。彼女の聡明な振る舞いや学びに対する意欲を強く感じ，こんな人が世界を股にかけて活躍していくのだろうと思いました。そのような方が前進するサポートをロータリーとして，また2820地区としてできていることを誇りに思いました。

午後は委員会ごとの分科会が行われました。ここに関しては「この指とまれ」プログラムについての報告・説明を皆様にさせていただきます。

地区の国際奉仕委員会の中にはＷＣＳ（世界社会奉仕委員会）が存在しています。ＷＣＳでは2820地区独自に「この指とまれ」というプラグラムを10数年推し進め，トラブル防止やスムーズなプロジェクト遂行の為にタイ並びにフィリピン担当者を配置しています。「この指とまれ」は，クラブが海外で社会奉仕活動をする際，地区補助金やグローバル補助金の規則に縛られることなく，それぞれのクラブが自由な観点で奉仕活動プロジェクトを立案し，その活動を地区内のクラブが資金・ノウハウ等において助け合いができるプログラムとして存在しています。

土浦南ロータリークラブ国際奉仕委員会においては，資金賛助としてこのプログラムに参加しています。今年度は，7クラブが「この指とまれ」プログラムにエントリーしており，それぞれのクラブに各1万円の賛助をさせていただきました。

先ほども説明しましたが，「この指とまれ」はロータリー財団の縛りがない分，自由な発想で奉仕活動を立案できるプログラムです。本当に必要とされている奉仕活動を国や規模に関わらず取り組めるものです。私個人としては，資金賛助だけではなくいつかプロジェクトの実施

側として土浦南ロータリークラブが存在したいという想いを抱きました。会員の皆様で頻繁に海外に行かれている方は少なくないと思います。何かアイディアをお持ちの方がいらしゃったら，私や国際奉仕委員に是非助言をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

簡単ではありますが，以上で奉仕プロジェクト研究会の参加報告とさせていただきます。ロータリーの活躍を知り，ロータリアンとして改めて誇りを持つ大きなきっかけともなりました。特別な機会を与えて頂きありがとうございました。